11-3

果洋工業會

機開く

(中級タラブで)

せられた 大元帥陛下には午午前午後二回野外御統監あら

総長宮殿下より申上げる戦況 遊ばされた、其の間閑院参謀 裁あらせられ深更まで御精勵

二七七八

上奏を開し召さ

れ上げ

引合計 二、二一七 北部的に件ぶ經費 二三

一、大人〇

同案を中心に逐修審議の結果―上る、各省要求兼算總額に於「風大藏省職算省議では主計」れ標準兼算十六億八千萬圓に「東京國通」郎報十一日の第一主計局案が大體に於て承認さ

だ。 では十一年度選算の大綱は左 が、の如く決定した(単位百萬圓) 一成 の如く決定した(単位百萬圓)

大演習第三日

超

(8

工業關係協會管助の下に大連り關東州及蔣洲各地の工學及今回社團法人工政會主催に依

後日に持越される事となつた制局、大統省、外務省當局に於て更に具體案の決定的再檢討を行ふ必要を認め會議は明制局、大統省、外務省當局に於て更に具體案の決定的再檢討を行ふ必要を認め會議はより對滿事務局に於て開催、課稅權處理實行に關する件に就き最後的審議に入つたが條より對滿事務局に於て開催、課稅權處理實行に關する各省聯合事務官會議は十一日午前十時【東京國通】治外洗權附屬地行政權移議に關する各省聯合事務官會議は十一日午前十時

領事

『季館富局は工部』 1比野洋行襲撃事件 1日登國済

件に關し總 の菱重保護方を要求した) 南京路 敬へず南京路筋一帶邦人商店

上海總領事館から

度豫算大綱决定

王計局案を大體承認

水.)

韓特別市長をはじ

Ę

に於る水力發電と 質社 北村 民 伝金事業の現狀

お市に於る地下を 建設局 重な を変素公司 山口

地地下山山口を煙防止は大の投資には、一大の投資を

(上海十一日至急報)

を諸所に撒布しつゝ何れか

集を行ひ共同租界全般に亘つ 感がある、それは日支國 る、工部局側も直ちに非常召 空氣が段々深まつてゆく 附近の徹底的調査を行つてゐ るが上海を中心として不

て非常線を張り廻らし犯人捜

抗日救國團のアジビラ撒布

に於る媒質防止門との利益計畫

を養成を謝し、將來に對する 性感で、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ 近べ、なほ本日の會合に寄せ たれたる満洲國政府の熱心な たれたる満洲國政府の熱心な たれたる満洲國政府の熱心な

に於る工業 与語の整 智社 関刊 珍治 日前 珍治 日前 珍治

河川改修の特殊工法に就い河川改修の特殊工法に就い

【上海十一日發國通】急報に 正すー 1

當局談一中山水兵和

當局談一

の發生を見たるこ

ţ 九

勝勝を保持し東洋の を記り記するに多大の效果 本會議に列席せらる(各國の 本會議に列席せらる(各國の 本會議に列席せらる(各國の 本會議に列席せらる(各國の を記り記すると共に資せんとする所 に勉勵して本大臣の衷心欣快とす。 に勉勵して本會議の目的達成 を記り記すると共に各位率 を記り記すると共に各位。 を記り記すると共に各位。 を記り記すると共に各位。 を記り記すると共に各位。 を記り記すると共に各位。 を記り記すると共に各位。 を記り記すると共に各位。 を記りる。 とする所なりなに本部代表に託し を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると共に各位。 を記りますると、 を記りまする。 を記して、 をこして、 をこして をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、 をこして、

法移讓問題、

各省

聯合事務官會議

護を要求す

路邦商の

昨日對滿事務局で開催

、満洲國に於る化學工業の 質業部 高木 佐吉 高木 佐吉

正

### 斯界の權 タ

尤の國 釀除川西京新

上政會は東方各國の共存 大学の義に起見し其領學を 大学の表に於て工業會議を開 大学の表に於て工業會議を開 大学の表に於て工業會議を開 大に微するに於て工業會議を開 大に微するに各國の為らず 大に微するに各國の等期と 大は、良法美意宮に はれ適し、厚の差別と なす、推れ適し、原の等期と なす、其間會を敬祝す

小山代議士

國同脫黨

光りの彼方に=

大林 梅子作

は十一日午後二時麻布廣尾の歌山縣選出代議士小山谷駿氏

「概するより、貴女と結構し」も結構したのちには非常に何のよくとしてもが、多美枝さん「ず、愛してもみない同志であつて

場所 東五條通拾一番地

か、検承のためにもどんな

見れば、自分も変代一と結婚したい例を見たこともある。--して

ら取はさう云ふふうになれるで

間場 取所新

**芙蓉町二**丁

六疊二間煖房、水洗便衝、風呂、

財政部に對し其旨打電した出現銀の中央輸送を拒否するに意見一致し直ちに國民政府に意見一致し直ちに國民政府

東洋工業會議ひらく 各種重要なる研究發表に 威を網羅

十三、滿洲國内に於る炭田分十三、滿洲國々道の構造規準 一切田 昌亮 坂田 昌亮 坂田 昌亮 三、滿洲國内に対 業會 吾一 十五、滿洲建築協り 十五、滿洲國の度量後/ 一十五、滿洲國の度量後/ 一十六、素西亞の電氣事業 電業公司。廣瀬、征貰 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 一個では、東洋學術 議

支那

の各地並びに大連へやがて率海、南京、青島、天津、北平

なほ同會議は午覧あり、それよりの時代では、日本工程

布:

議題に基

の方面に於ける提携友好感者に紹介し、三國經濟

張外交部大臣、丁實業部大臣 住、張滿洲國國務總理、日本 住、張滿洲國國務總理、日本 中本國田總理大臣、南全權大 で、張滿洲國國務總理、日本

総節左の

國の本、利用厚生の法なり夫れ開物成務の政は實に富

行との第一回具體的に伴ふ滿洲中央銀行

的細目協定

明日第二次會議を開催

次會議

り める上に必要なる事項に関し を進め圓滿なる協定成立を 希望する」 を進め圓滿なる協定成立を 協定成立を は重協議

と 内で着任挨拶に来社 世 日、同聯盟理事久保田氏の案 盟專任理事田中真茂氏は十一 ので着任挨拶に来社 着任挨拶に來社

打合せを遂げ具體的内容には に至らず散會した、來 を開き慮々本格的交渉に入 を閉き慮々本格的交渉に入 田中真茂氏

(備設の 付書明証

ては僧戯な言葉であつたかも知

と、事代一は彼女の悲しみが少

紙の如何に依らず、僕が

ませんが、貴女が、心から僕

してゐて、

質女方御兄妹にも、失戦の悲し同時に、さう云ふことになれば

らうか? かう思つた時

は、やつばり否といいーから思つた時に今の

御希望,方へ羽衣町三丁目十二番地倉庫完備

たい無持ちであつた。

郷しさうになつて、専代一(へて下さい。野よ霞といよし、め手紙を譲んだ多奏枝は其。たか、どれほど思つてゐたかを鶏の手紙を譲んだ多奏枝は其。たか、どれほど思つてゐたかを鶏してゐ

本で宿料は御期待に添ふ機最低の料金にで御相談に應じる原利 本場所は市内の中心地にして何處へ御出掛になるにも最 本家族的に優遇致します 本一室御一人様(各室共床押入付)

の前も聞いず泣き

僕はかなら

△風呂は朝から用意して居ます ○行届いたサービスは屹度御滿 ○行届いたサービスは屹度御滿

ーピスは蛇度御滿足を得ること、確信致

新疆七四

旅旅館

を脱黨する決意を述べ脱黨国私邸に安達總裁を訪問、國同 人事往來

▲大竹章氏(滿鍰社員)同午 ▲遠岡信献氏(大同殖産)同 ▲佐々木宗一氏(熊本醫大教

、場所 大馬路三二(路東)三階建東京市優良商品展示がでは富良間取、四疊半押入附展望住具、室内明るくは富良間取、四疊半押入附展望住具、室内明るくは富良下宿代、月三十五圓より(二食付)

御希望の方は 電話(五六四〇八百) 濱

田

大使館 富局 談 ざるやう極力防止すべきである、再單の內容から見 調査の上工部局に優を連轉を表に判明せざる際斯る不祥事 しつゝある日友國変も連轉を未に判明せざる際斯る不祥事 しつゝある日友國変も連轉を表に判明せざる際斯る不祥事 しつゝある日友國変も連轉を表に判明せざる際斯る不祥事 しつゝある日友國変も連轉を表である、再單の內容から見 調査の上工部局に優高と表で表別。 甚だ面白からざる事實で支那感がある、それは日支國交上 を氣が段々深まつてゆく様な 後來勝司氏(滿洲電業)同 ◆金光康夫氏(東亚煙草社長) 十二日午後歸京 十二日午前發奉天へ 大野線一郎氏(院軍支持廠長) 十二日午前發奉天へ 一日午後歸京 本津田中將(駐滿海軍部司令 官)十一日午後歸京 本大野線一郎氏(陽東局總長) 一日午後郡京 本大野線一郎氏(陽東局總長) 一日午後郡京 本大野線一郎氏(陽東局總長) 一日午後郡京 本大野線一郎氏(陽東局總長) 一日午後郡京 本大野線一郎氏(陽東局總長)

▲ 藤原喜巌氏(北鮮製紙化學 長)十一日午後來京名古屋 長)十一日午後來京名古屋 大澤事務)同 工業事務)同 工業事務)同 

▲內田治守氏(同秘書)同 ◆荻原公平氏(大漸採金公司 員)同 ◆中澤正治氏(日滿製粉會社 取締役)同 ◆中澤正治氏(日滿製粉會社 取締役)同 ◆中澤正治氏(日滿製粉會社 取締役)同

その日く

は中國人

日撃者現はる

水兵事件といひ、 **大兵事半といひ、このまゝで上海でまた邦商襲はる、中山** 

れるに至つた、右に 邦人某 氏履傭 の中

は當地在留

行過された際背後に銃撃を開

で同人を中心に昨

分より陸戦隊

東 ・日午後三時 ・日午後三時 ・日午後三時

り事件の有力な目的

あることが確認されるに至つ

九まで中國人で

直後とは皮肉 を製を生ける北海に列車のダ も片棒かついで行こうに異論なし、協會員ならずとに異論なし、協會員ならずと

漢口銀錢業者 中央輸送を拒否

結果十中八、九まで中國人で いふのであるが、此の檢證の るのを見た、その儘 十間計り男と同じ方向をとつて歩行す て恐怖の餘り近くの露路を拔 小山谷鞍代護士脱黨、一業落ちて天下の秋ならぬ、議會迫 の誇り、先つ亜細亜のリー東洋工業會議開く、工業日 はこの邊からか

女の気持のどこかでは。 大の気持のどこかでは。 かりまつた 度代一を ーから思つた時間、

見他から裏代一との経轍をするめの末の方を見ると、四人の布輪のがあると、四人の布輪の を容れる東の時期から初まると 影は? そして、未来の希望は? 自分との約束を訪れて環の悪に陥 思村との約束を思つたからだった。ないのですか……」 しかし、未来の異は、未来の気 それは、多美枝が青代一の無 し、今となっては、その一 四人の幸福の「では、多美枝さん 行の過去の れて、彼女は思は丁鰈く鎖いたのとあると何ともいへず組の際に思は ・機性になる無たつたら寝も、高に今の場合は多美なひとりが少く に今の海村の手紙にもあつたやう 十分同情してるたからです。 にして貢献に言つた。彼女は我れ と、東代一は一勝乗り 夏代一は、 薄びに 繋をふる 高代一の<br />
熟に對しては、

代一も、遠村も成は、自分も幸福になる無だったら乗も、意 家代一は異をいるはせながら、 東京 吉野町銀座街 房 用品 雜 誌

になれるかも知れない

梅ケ核町四丁目十四番地 電話三一三三四一番 致ます

出ったう



市内に保證人を有する者本人自筆の歷魇書携帶來談あれ年齢十五、公成より十九歳までの者學歷高等小學來業以上 金庫事務用品其他の株式アサヒの含数店 朝日通領事館前

各種會社並不動產登記 電話(3)三三六九番

民刑訴訟 戶籍事件及諸顯屆書 前局所及局職務署代書人 南州 堂 代 書 館 前局所及局職務署代書人 書 館

大勉强

\* I IIIII KE

貸

90女八人感觉時代 90

最後の切札八枚

御用の方は電話3三二四一番又は滿葉病院正門前通 二叠風呂、物置其の他完備 場所入船町四丁目七番地間敷入、 六

內便所 墨、四墨半、二墨、玄陽一坪、炊事場一坪 風 四 拾 圓 家廣告

つた際にいづれかへ逃戦を着てくるからと奥

農安、扶餘荒

首都警察で逮捕

弾丸もろこも

阿片吸飲所で

室机抽出にあつた蟇口より

。衛戍病院へ

侍從を御差漕

園の毛皮付婦人用オーヴァー小七馬路高揚氏が時價三十八小七馬路高揚氏が時價三十八十日午後六時頃市內日本橋通

と五景龍(四五)が南部爾羅 と五景龍(四五)が南部爾羅 を振つてゐた、

巧みな女

名を率ひ良民を殺傷し 名を率ひ良民を殺傷し 名を率ひ良民を殺傷し

新五時墳隣村ツオールンチン 古城吧拉に九日到着し午前五 間三十發・小銃五挺、實彈四 ル一挺、ブローニング二挺實 ル一挺、ブローニング二挺實 ル一挺、ブローニング二挺實 が表五挺、實彈四 は が表五ところを襲び逮捕し は が表五ところを襲び逮捕し は が表五ところを襲び逮捕し は が表五ところを襲び逮捕し は がったそして がった。 がった。

日本語に

皇帝の畏き思召し

例

の齋藤武

荒しだ

精を着用した二人づれの客が川原田フエ方に滿鐡の側服正 川原田フエ方に滿鐡の側服正

一着窃取したこと自白した一着窃取したこと自白した日本橋裕源公司で阿片吸飲中氏(二二)で十日午後六時頃

無錢飲食

八本籍河北省生

未屆の方は速かに

**這入つて來て十五圓二十五** と一人が金策をして來ると

ち出たま

っそのうち残つてるなると

宅で支拂ふからし

京緒た歸

## (車脱線から復舊に手間取り 十三時間目に開通

年度内の會計報告あり、役員會議室で開催、開校式および一日午後三時三十分から同校

一日午後三時三十分から同校入島小學校父兄會役員會は十

を機とし

トホテルへ日滿各界 日十一日午後六時から

: 今晩の主な

る放送番組

白したがなほ余錐取調べ中質し遊興に費消したことを自

夫氏は朝鮮を經て視察に來滿

、島校父兄

2

ふに一決、同五時散會した理のない範圍に止めやうと

につき種々懇談

桑野潔氏

東亞煙草社

金光氏催宴

落合光亮氏と同伴本社へ来訪新潟極日新潟市工會議所囑託の關係で新潟所工會議所囑託の關係で新潟時代の開係で新潟の開係である。

京鐵道北民用路質起陸方より(二六)で入日午後九時頃新旦堡生れ住所不定無職吳世仲

**蚁取調べると本籍金州二十** 駅不審の男を**發見、本署**に

金現在高約九十圓を基本に無

六小學校の開校に伴ふ通學區補欠推薦の件は近く第五、第

復したが

**賓を代表して呂民政部大臣の惟したが席上金光氏の挨拶來の代表數十名を招待晩餐會を** 

り歡談、二時間餘で

本・・○○富本道行念玉蔓(東京)洋瑠璃富本豐多香▲七 東京)洋瑠璃富本豐多香▲七 (東京)桂貞植▲八・一〇歌 謡曲(名古屋)

松岡總裁

Ξ

はいづれも雙城堡で夜を明し (あじあ)六百三各旅客列車 (あじあ)六百三各旅客列車 困難な沿線であるため思はしたが現場は交通、連絡上最もたが現場は交通、連絡上最もたが現場は交通、連絡上最も ビン起點二十七キロ地物列車が予家、望哈間 三時間餘に亘り今朝七時三十へ進捗せず復舊開通までに十 ルビンゆき第六百六十一貨一日午後四時十分新京縣發 地點)で し 解が傾斜耽線したものである 当車 ービル不良のため挫折して車 か なほ貨車耽級の直接原因は同 十五分着ハルビンけ雙城堡を發車、 一時五十分到着し

本等通學校一八月頃校庭で野 一大学派の一大学の一大学の一大学服のボケットにあった茶色裏口と 一十三圓、と別に七圓、十 日初旬鐵路局員野球試合中 一十三圓、と別に七圓、十 日初旬鐵路局員野球試合中 一十三圓、と別に七圓、十 日本一十十五日頃、 一五日頃、 一五日頃一大子子。 一十月間位 一五日頃 一一十月間位 一一十月間位 一一十月間位 一一十月間位 一一十月間位 一一十月間位 カフヱートリオで

から女持ハンドバッグと現 から女持ハンドバッグと現 会二十三圓、同女持墓口と 二十八日頃七十圓、同八十 三圓、九月二十八日頃三圓 一中銀グランドにて七月 五日頃一圓五十錢 中六十二圓 中六十二圓

本信七氏は十一日午後七時よの間に迫つたが、同劇場主宮 の開館も こゝ數旬

100E00%

0

銀相場

特別市長通路管內鐵嶺屯滿人十一日午後五時二十分頃新京 昨夕城内に 三人組拳銃强盗

明日遺骨着京 ルピンから高木大尉、根本憲 をなす市民は奮つて送迎に驟 をなす市民は奮つて送迎に驟 をなす市民は奮つて送迎に驟

満各署に於て目下犯人嚴採中 し現金國幣八圓、金指輸一ケ 金腕輪一對、懷中時計二個を 最審逃走した、屆出により日 强奪逃走した、屆出により日 官は語る官は語る



電々會社に 滿洲國郵局開設

廣場に新築された鴻洲電信電新京郵政管理局では此程大同局の設置が要望されてゐたが **廣場郵局を設置し、昨十一日電報事務取扱所の隣室に大同** 會社本館階下南玄關寄り



敦賀地方

**| 1 意気揚々と引揚げた頭目** 弾二百發を押取し十一日一

副頭目は昨年まで農安縣を根

野り となり、紅狼を 野を襲ひ人質を常習とし身代 野の大谷を集め農安、扶餘兩 であり、紅狼を **ご月日滿官憲の追撃で同部隊** 部下として働いてゐたが本年城に構へてゐた匪首根飢狼の 「教賞関通」十日朝來教賞地 方は霰交りの暴風となり日本 海は午後から大時化となつた 爲め航行中の各船舶は何れも 最寄りの港に避難した通信、 鐵道にも被害あり、十日北陸 線沿線では至る所で各列車は 立往生大遲延をなしダイヤは 一、國内及び國際價格表記書の通りであるの通りであるの通りである。 、國內及び國際價格表記物狀

一、國際貯金出業の一、國際財金 で、國内及び國際普通小包郵 常郵便 常郵便 五全大會

電二一元七谷

現代御好の

品

を

第文と 原文誕生七十周年記念會終了 原文誕生七十周年記念會終了 原文選生七十周年記念會終了 所文生讓記念日なので午後は 所文生讓記念日なので午後は 所文生讓記念日なので午後は 所文生讓記念日なので午後は が立て、本日は故 がらも郷養本書。 がこて、本日は故 がらまが書いた。 での がらまが書かる。 がである。 がである。 がである。 がである。 がである。 がいた。 酸國通」五全大 

天鼠と照温

べと迫るが、▲旅行ですに通ひ桃作をよべ、桃作 んの顔を思 てゐるとはとんだ

冬

新荷着!

着

ふとんいわた類は

定許ある篠田

是 非御 用命を

開かる



福岡日日新闻へ ●電話五九八七番へ

用防

品寒

ネウジャケッ イタイグ

野

商

店

電話《紅江本

【本天殿通』 大阪商船では裏船の製造を急いで居たが此の程先づ洛東丸が竣工し十一月程先づ洛東丸が竣工し十一月となつた、同第二船大同丸はとなつた、同第二船大同丸は 青年學校後援會 洛東丸竣工 總會役員會 處女航海は t刀 親 0寧 0丁

院入

需應時隨

廿三日

四米収穫である、 一回米収穫である、その結果全國第二回である、その結果全國第二回である、その結果全國第二回である。 である、その結果全國第二回である。 である、その結果全國第二回である。 である。 本記じて維持する程度と見られてある。

第二回米收豫想 萬石程度 五千七百

新京輸入組合加盟店 市場内支店 市場内支店

開

業

(東京國通) 十

古賀巡官談器、彈丸と殊勳の古賀巡官)

のホオンサインも十一時とい で陸戦隊のオートバイが慌し く現場と本部の間を連絡する 技身の拳銃と防弾チョッキに 武装した工部局巡警は一々通 行人の身體検査を行ひ不氣味 な緊張の色がたざよひ上海の 夜は更けた 流石に繁華を誇る南京路一帶 前正辯 判せ護 事位士

裏店貨百京新延橋本日 番七四一二(8)話電

場所、梅ヶ枝町 設備完全

新築家屋順下 新京土地建物會社 

院病畜家石立

立 國 洲 滿 元主院 嚴石

六五八六(3)電

等位 引地寅 题 S(2)点 九 Z O W 治郎

辯護士師大 一度お試に御來店を一定間間口で新京一安い

稲田吳服店

送內 容見 是本 富山縣人會代表 十一月十二日 木清枝村田野林井井番

一部)

極度に動揺上海の人心

畫版

洲

滿洲版画刊行會

**糸屋**第二丁目

小杉放庵、

中澤弘光 画

之藏實雄郎郎次即作

小兵の狙撃事件に織いて又

図都建設計豊岡を見ると、鐵 選北、北に無電台を臨む一帶 の丘地が、輕工業地域となつ すらない、何も無い地帶だが ー一最近ここに明快な外装を 一一最近ここに明快な外装を を陳東瓦工場に隣接してわれ を映東瓦工場に隣接してわれ ない。

品を作ってある。大きなかまといってある。大きなかまでに各種を対した主が、大きなが、大きなかまでに各種を対した主がでの複響があるが、大きなかまでに各種を対した主がであるが、するとにすでに体験を関いるのである。まだ工場内を見事した主がでの複響が出来たが、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、まだ工場の、大きなかままた。

新京に初 大康硝子 て出來た 工場を見る

E.

當日午前二時發四平街へ向はれる

(日)

水)

舞つて聖旨を傳達し、同三十分宮内府に購着した、なほ宮内府出發、同十時同病院着、親しくわが傷病兵士を見院に御差遣遊ばされたが、同侍從一行は午前九時四十分滿洲國皇帝陛下にはけふ侍從武官通組上校を蘅京衛戍病

京城内東二馬路二十六號岡田京城内東二馬路二十六號岡田の瀬人女を發見、本署に連行の瀬人女を發見、本署に連行の瀬人女を發見、本署に連行を報酬べると本籍河北省生れ新

を出發頭目の隱家である内蒙 挺、窓は部下九名を引率し六日新京 ーゼルを突き止めたので、古質巡官 狼こと

1 後こと王景童方を襲ひ逮捕モー 源こと王景童方を襲ひ逮捕モー

石油をかけ又撲殺するなど惨金を提供しない者に對しては

國都が誇る輕工業地域の先驅 型熱し、形をつけ又熟し、仕 数棒の先きに取り、息を入れ を入れ で、こでとろくくになった、

上げをし、そして別のかまど で徐々にひやす、まるで倫湖 なだけにそこには熟練した技 物が要るのに違ひない、この かに、多はいいが夏は辛から かに、多はいいが夏は辛から かに、多はいいが夏は辛から かに、多はいいが夏は辛から かに、多はいいが夏は辛から かに、多はいいが夏は辛から

るたもので 窃取し 入質

の説明を附加してゆくことに以下之等について順次若干

俳優の表情、

く語らなければならない。

如くになるであら

A、俳優の表情、動作に依 るもの B、風景、事物に依るもの B、風景、事物に依るもの B、風景、事物に依るもの

しく、いやそれらを綜合した子とか繪畵とか音樂とかと同た。薪らしく興つた映畵が女比まるべきでないことを述べ

する理論と實際、並に高等專者にして、演勵或は映畵の監

門學校卒業程度に於いて行

「筋」或は「話」の映像化にいて」に於いて映畵は単なるので、大日付けの本郷

表情機能を持つてゐること手、脚、これらは悉く夫々

高等専門學校卒業程度の獨習格は藝術教育を受けたか或は

描寫の分析

モスクワの國立映書専門學校の學生募集が開始された、毎年十月に募集し翌年一月一日から新學期の授業がある、監督科に就いては、修業年限二年半、學生は一ヶ月三五〇圓年半、學生は一ヶ月三五〇圓

本井上生氏(朝日通り朝日ア ボート)男修さん十日午後 ボート)男修さん十日午後 着田宗雄氏(親町四丁目五 番地)妻ハナさん十日午後 七時二十分死亡 七時二十分死亡 七時二十分死亡 中前十時死亡 中前十時死亡 中前十時死亡 中前十時死亡 中前十時死亡

日本橋通六三

布

盤路 三

洋流行

入學者は優遇 新學期は

映畵に於け

3

心理

的操作を以て滿足隨喜すべ時に於けるが如き單なる機

た有線だから仲々容易でない可は僅か一○──五名といつ

監督科にある

・二黒の・

不安の傾向を呈

ルセす勉むれば功を奏す と庚と辛が吉

困難に遭遇す

先負

日八十月 十 舊

○名位に就いて入學許これ迄の例による受験

画

に歪んだ表情をする。 ・ のであれる。 ・ に変して頭をからる。 ・ に変して頭をからる。 ・ に変して頭をからる。 ・ に変している。 ・ に変して、 ・ に変して、 ・ に変して、 ・ に変して、 ・ に変して、 ・ に変して、 ・

にて最近豪華な撮影の幕を閉た林長二郎、犬塚稔のコンビ 競表して昔懐しくも復活され

次女キクヨさん四氏へ朝日通り三十

1「天保安兵衛」は聲明書迄飾る超大作映畵オールトーキ

厳選される

ソ聯の

に思はれたのである、静分的 いよのである、静分的 いよか、力の入 のである、静分的 に思はれたのである、静分的 に思はれたのである、神分的 に思はれたのである、神分的 「千兩礫」

もの」有つ場前味にかなり場 もあり、企業としての好まし い一つの動向を約束づけたも のとも思はれたのである、 を採りあげて、一種としての好まし を採りあげて、一種としての好まし を採りあげて、一種である、会 たのは、この種味の強い一面 をは置き換えやうとした意識 が一つの動向を約束づけたも たのは、この種味の強い一面 をながりあげて、一種 たった。とした意識 があるない、人間性の関い である、会 を表するとした意識 があるで、人間性の関い である、会 を表するとした意識 があるである。 を表するとした意識 がある。 を表するとした意識 がある。 のとも思考されたのである。 を表するとした意識 がある。 のとも思考されたのである。 を表するとした意識

五十嵐榮三郎氏(花園町三

出

生

あるが)肩、背、腹、腰、腕には最も重要な表情の一分野ではなく、(勿論顔面の表情のみ散りを加へる必要もあるまい、は最も重要な表情のみ

新京キネマ上映中 (N生) ・ (N生)

番地ノニへ番地ノニへの関係のでは、原定良氏(鹿児島縣)のでは、原定良氏(鹿児島縣)のでは、原児島縣)のでは、原児島縣)のでは、原定良氏(福岡縣)の次田中鶴高氏(福岡縣)の次田中鶴高氏(福岡縣)の次 住 息

居

八目丁一町菜篷京新番八四九五話電

品秀優いなに外は

御 白鹿 菜正 と 食 堂 自なやべ 四ノ三町士富

一寸一ぱい

紅

廣

正しく業期以上の好成績で ある、詮衡は十二日行はれる 等であるが、果して如何なる 等であるが、果して如何なる 等であるが、果して如何なる は強大會終る観客の興味以上 に、演る人々が愉しんでゐた のは近頃の異觀であつた

●九紫の人 奮勵努力すれば 名利共に擧るべし怪我注意 附けて進まざれば後悔あり ○ と未と庚が吉 ・ 入白の人 投機的の計画は ・ 入白の人 投機的の計画は ●八白の人 投機的の計畫は 大凶忠實に本業を守るべし 告

店い多の品商

一六白の人 前途の見通しを

卯と午と子が吉 ことあり

賣廉大皮毛

福祉は一家に滿

表情し、苦しみの時には打ちす時には如何にも嬉しさうに

長二郎、犬塚

要早熟する本社演藝界は益々 を取り、新京の演藝界は近点、 を取り、新京の演藝界は近点、 を取り、新京の演藝界は近点十十二月 を取り、新京の演藝界は近点十十二月 を取り、新京の演藝界は近点十十二月 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十十日 を取り、新京の演藝界は近点十日 を取り、一方長春 を取り、一方長春

氣分を表は

が多く、例へば絶望した男はとは相關聯して表情する場合とは相關聯して表情する場合をは相關等して表情がある。

松竹京都撮影所が本年掉尾を

完成せまる

天保安兵衛

●四線の人

通りに運び難き



九番地)次女キクョさん四 日出生 一会村文京氏(鐵道西)長男 文養さん二十九日出生 安本袈裟男氏(銀道西)長男 日三ノ三)長女瞭さん五日 出生

ちおおこっ代に乳田

店の位本質品

(前ルテホ和大)目丁一町土富

粉。近、 TA 

版華豪の界雀麻!! 見

賞

コーヒーセット神毛シャッ上下純毛シャッ上下純毛シャッ上下

<del>侍點</del>决定方法

高法に依る差引高と日々計算合計す大日本麻雀聯盟標準競技規定に依り最

七六五四三二

一合贈呈致します 位のお方には最新型職 ラヂオセツト特別賞として一ケ月通算競技回數首

從業員人

急募

に家族

す的



特製ハンカチーフ

速龍 Ξ 町 (3) ビニ =



然來る十二日より

御得意慰安特別サーヴィ

間(十二月十九日まで一ヶ月間)期(十一月二十日より一ヶ月間)



電話開通記念

權太商店保險部殿日本海上保險採式會社代理店

安東縣 君正二領收候也 濱材 木 店

金五千圓也

火災保險金受領廣告

電大士士

清水

濱 治

作

所

溫水煖房水洗式便所 (発問)八叠、三疊、(日本間)八疊六疊六疊六疊(敷地八十坪練瓦造り平家)

新京特別市新發屯清和街第一〇一號

東亞與業株式會社新京出張所別市新發屯清和往第一〇十二

間

紳士淑女の洋服並毛皮の

(女給仕募集) 香しい 30 是非御試食下さ 珈琲 …満毛のラ ン

あります 各種豊富に

Ť

買ひよい

店

の基礎ともなつたものであつ に一千二百余萬、すなはち七 は ところで、鐵道の建設や 割餘の増加を示した、しかも た。ところで、鐵道の建設や 割餘の増加を示した、しかも によって、い そのうちの四割八分强は移民

もらない。それにしても、大陰の傾向は上表で理解される。 列これには、主として北部支那に於ける人口の相對的過剰 そしてその經濟的機構の破壊 といふ、そのやうな形勢が年 といふ、そのやうな形勢が年

生

世界經濟への結合を推進した

移住漢人勞働者增加

ひろん、詳細には入滅数かれた。17.18-0。 二九九九元 10.7-5C(滅) 二五・0名音 素/18-7。

札 六百四十八圓五銭 1005700 齿 厚 組 22470 京城阿川組 1105700 齿 厚 凝 1110000 宮 本 組 三元門 (0 梅 本 組 三元門 (0 梅 本 組 三元門 (1 梅 本 組

金

五三九五番

北支の・

人口過剩、經濟破壞

がら、一九三〇 満人移住状況

4

七四〇〇

る。山東省の人口密度は、ウッドヘッド氏によれば今から十二人、しかるに東三省に於っては實に六十一人といふ大いては實に六十一人といふ大

を時は發起人に於て適宜決定 態等殊數が募集複數を超過す 十一月十三日至十一月十五日 大田至十一月十五日 大田至十一月十五日

数量位十株但し一日に付金十二圓五十経

八萬株は發起人及び養成人に私は總珠數二十萬株のらち上日下創立準備中の滿洲製糖命

米交附法の内容と類似のも提案通過を見た臨時政府所

和製鋼所の

▲奉天農業專修學校電話架設●無川處營繕科

半作以下の農村を

農林省救濟せん

第二回收穫豫想發表後次定

B

**歴に碇泊せしめ得る施設で沿地直を出る。** 

**MIT** 

兩洲製糖

二萬株を公募

で学作以下の地方を関的に 見て相富あらうとの見透しを の力け、之を救済すべく飯米給 興の非常手段發動の必要を痛 感し農務局に對し半作以下の 感し農務局に對し半作以下の を関の市町村を調査せしめた が、昨年臨時議會に農林省が を

| 「東京國語」農林省は本年度 | 様の事情に置かれてゐる關係 | 銀所東京出張所の兩所に於ての米穀政権が意外な減少発想 | 上昨年の交附法はその儘適用 | 銀所東京出張所の兩所に於ての米穀政権が意外な減少発想 | 上昨年の交附法はその儘適用 | 銀所東京出張所の兩所に於ての米穀政権が意外な減少発想 | 上程 ニュース見て相當あらうとの見透しを が有力である、第二回豫想収 | 上程 ニュース見て相當あらうとの見透しを が有力である、第二回豫想収 | 上程 ニュース | 上程 ニュース | 上程 ニュース | 中国 | 大学工事 | 「東京國語」農林省は本年度 | 様の事情に置かれてゐる關係 | 銀所東京出張所の兩所に於ての米穀政権が意外を減少を開係 | 銀所東京出張所の兩所に於ての米穀政権が意外を減少を開係 | 銀所東京出張所の兩所に於ての米穀政権が高い。

港埠頭工

近く完成せん

第一回株金拂込期日は本年十

二月二日、満洲に於ける申込下である、設立趣旨書には日本の大連奉天兩支店である、設立趣旨書には日本のの國策に順應し、甜菜製糖に將來の重點を置くこと、新會社は日滿合辦の滿洲國人たるべきで、日本側の出資は日

日 般來上流から流水を見るに至れて、ハルビン國通」 松花江は過れていば、一般本江、河上、め

益

「奉天國通」新京に於て相當 り態 行及び益穀銀行は豫て投資市 を以場として率天の有望なるに着 十月 目し當地商工業者と為替取引 着を 明確絡もあるところから最近 船舶 の連絡もあるところから最近 船舶 を連絡で表表の需 姓の 特産の出廻りに伴ふ資金の需 姓の をを携行し来り貸付を開始し り紀 た、聞くところによれば兩銀 の船 た、聞くところによれば兩銀 の船 た、間くところによれば兩銀 の船 奉天で 特產資金 富り態よ結氷期に近づき昨十一 市 を以て終航河止めとなつた、 市 を以て終航河止めとなつた、 青を氣遺はれてゐた航行中の 着を氣遺はれてゐた航行中の 着を氣遺はれてゐた航行中の 強力が行を終る事が出來た昨年 の船止めは十一月七日で本年 国は稍々遅れてゐるが大黒河に に集結、多營、之によつて北 に集結、多營、之によつて北 に集結、多營、之によつて北 に集結、多營、之によつて北 貨出

▲阿仕河同工事 量獨 二千六百五十圓卅八 整工事 整工事 電獨 一萬三百七十圓

念

格 七七留比二、 一二弗四分

▲阪神日

英為替

元の〇〇〇

ル お古小麥 會 第一回賣一志 第一回寶 二八弗二分三 ▲阪神H

強壯劑と化粧品

一四留比八分七一四留比八分七 ★ 大阪株 元(短期) 五 五 元 短期

大 1 巻 l 101 寄()

式(短期) 大型二石 公司也否引 ●関幣對鈔票 十三日限 圓 一十八日服 ころ言 二十八日限 10人23

ガルの間

大幣票幣高幣高數金金

野夫人に得見されるうになって強 房技子に続はれて思び込んで、自 にも、はげしい可費を感じ出たのないで、迷れ得などしてゐたこと 出たのであったが、さうして中

恰度それは本地から電話のかか 鎌倉の別邸へ、ひそかに

を いらオ

が 間つたらところが、何か温かいも 泥線が観察にあげられた。 「愕は、あそこのお酵子機に終て のをとりなさいって、お言葉で たものですから、早速女職にかけ

料金六十錢



デパ 十大

●御倉食に御利用下さい 出屋食 氣持の良い大ホーンピリとした明い

吉野町一丁目十九

電話大和分局三一種の二四番

昨年より減收

· (PP)

るものであると述べてゐる。

落工札事

が書

九 五

誰がが

殺

た

連本一 電電電圖

米收穫像想

でもあらう、蜀でもあらう、蜀

▲大阪棉糸

( 第上級)

寺史 瞻郎

可以

ある▲育士 製糖薬を兼営すると 製糖薬を兼営すると ある▲育士

出來高 三号 出來高 三号 ・大連鈔票銀大注 ・大連鈔票銀大注 ・ 100:00 ・ 1

生てゐる膨大を限の前にしたやう。それやながめるにつけて)が由は

益發兩行

| 大はははない。 | 大はははない。 | 大はははない。 | 大はははない。 | 大はははない。 | 大はははない。 | 大ははない。 | 大ははない。 | 大ははない。 | 大はない。 | 大はない。 | 大はない。 | 大はない。 | 大はない。 | 大は、 | 大

大阪期米

2000

のであつた。

▲大阪八組

▲大阪吊化

空から

どうしても、髪山に、かへさないっとし、際にとりあげてしまつて

は、愛が失せはじめ、そのために

そして、不思觀にも、勝枝子へ

くおい、 楽品を、富枝子は、ちよ校時が、なにげなく、かたはら

するやうになってしまった。

まれ、したいに、その生體を頻波 な実に打たれ、射感にひきす

104.20

語を供 意味に 所は、もう少し安價な砂のる、まあ、在量ブル 日本糖業の

片一六分七

3811 3811

油

愛三

三日

八分三

台

▲ 上海為替 第一回賣 一〇三、二五 第一回賣 一〇三、二五

三二一士士 ●月月月月月 同限限限限限

可

の要派を、除み込んだのであっていまく笑をうかべながら、こ

その前に、疾山に迷惑の及ばすーそこへ、突然に、深州警子があ

の事様であつたのだり

他人の知り得ない、通烈な刺线性人の知り得ない、通烈な刺线

子は、不思議な真悦をもつて、に

あつた。

また苦痢の前

あったのだる

一衛日後、夜中に、宮枝

刺散をたのしな人知れの幸働でも

それは、このうへない、柳野な

八日限

产

兄

もしないで、自分から、吹む方法をれて、風て、とりかへさうと

いっ、不思議なよろこびを感じて

うに感じて、くるし

五、 脚之,

な愛撫に使ってゆったのであっ

見でゐるうちに、實験が出来ると

戦山は、じつと、**管枝子の**館を

で いきるな様子に質められるや 離れようとしては、また、自分の

「ばれな父」 作原寛池菊 寅主郎四染井・るほか野中

十一月二日前場) 况欄 二九片一六八二九片一六八 第三回賣 第二回賣 第二回賣 第二回賣 第二回賣

第二回賣 二九弗一六分九 第二回賣 二九弗 八分五 第二回賣 二九弗 八分五 九九九九旬

●月月月月月

盗車

(土月二日前場) 寄 引 出來高 (A) (日本高) (日本高) (日本高) (日本高) (日本高) (日本高) うつされたのであったから、誰

から、突山は、非常な苦悶に襲はされ、その化石のやうになったが、され、その化石のやうになったが、 なところへ捨く、薬液はコップに され、その化品のやうになった好ところが、それから死職が発見 とを励れて、悪液のはいつた小一らばれてき したことは、気つかれ ら完全 つた こと、苦しんでるたが、つひに、また州子の誘惑にうちまけ、長い いそしていこんだは したのであ

害など、今ひとつは不思義な、それは富禄でに到して、見心部 過烈なが着をもつて、日夜、たけ かくれおしせたのであつた その頃、富枝子の外談に、 にはなれて、温熱学 、工人の女か

変素を感じはじめたことで あっ を楽しんだる 类等

離算

Ø

御希望の方は左記へ御問合せ下さい一、二食付二、六疊、四疊半 電話@四九三七番 共祭社

各部外勤主任 (水川 (五名) 保證人、履歷書、寫眞(要二通) 保證人、履歷書、寫眞(要二通) 局級下宿 室町二ノ一田中ピル 電話三八六五〇九番 滿蒙紹介事務辦事處 州堂療 東一条橋々語

新京筆耕計

生長食堂

有給女中 出前迅速 配差生長辨當二十銭より ●其他ライスもの。うどん● 朝日至バート角赤あんど

お手輕

甘業には當店自慢滿腹ぜんざ

長食堂

カドガン雨大使の

【頁二十刊夕朝級本】

吉川高會 採甲板

電子九方

以來カナダ政府の専門委員間

満洲國の工

業現狀を説明し

關係

に技術的下交渉を開始したが

近くカナダ政府より正式に發なほ下交渉の經過については

地代表全部並に地元側各機關

議題で提議説明と質疑應答を 代表六十餘名出席し次の如き 渉が開始される度取りである 纏り次第キング首席と正式交

特別市長を座長に來京した內閣に於いて製談會を開催、韓軍洋工業會議新京會合の午後

# 

## 憲政を實施せよ に返還

【北平十二日愛國通】宋哲元氏は十一日夜五全大會に宛て 宋哲元氏が中央に發電 憲政を實施せよと通電を發し固き決意あるを明白に示し

## 日本軍司令部に向ひ 救援を請ふ民衆

銀國有令に北支の怨嗟囂々 きのふ關東軍で發表

ハバロフスク外三箇所に領事外交部に於ては康德三年度に

題なり

でも放置し置 ン、率天に總領事館を、又滿、(侯つ方針にて、豫算編成の都合もあり尚亦ソ り先方の自發 く譯には行かず又康德三年度

するものと見られてゐる

の肚をきめ近くソ

狀況を見極む

ソ聯筋違い

の遷延策

るにつき外交部に於ては最後 不同意は容認し得ざるものな の均衡上より見るもソ聯側の

上上上 せしめ居るに對かに「チタ」及「ブラゴエスかに「チタ」及「ブラゴエス

張總

安東へ

所に領事官憲を利しへ、級事所に領事官を有しない。

事館を有し合計六ケ

山丸で來滬した橋本中將は十二日朝入港の白

結果たるや一部關係者の私 で益々第三ならしむるもの つゝあり にして心ある支那國民は無 天津各銀行代表者

回の幣制改革並に銀國有令

に中央送金を防止する方策を 決定した、天津殺行管理委員 であつたが二三日中に勝端する組織の下 周氏は上海に於て對策協議中 であったが二三日中に勝岸を以 々分會設置組織に着手する 銀輸送防止の新對策を决定 対象政策としては頗る微温的 の新事態の趨勢にある河北の の対す態の趨勢にある河北の が新事態の趨勢にある河北の 乗ぜられ再び現銀南送の口實

被けて居るが内政關係上此の 各銀行代表は先般現銀の中央 集中に反對決議をなし目下現 原中に反對決議をなし目下現

早急 同意方馨促した 同意方馨促した 邦に對し

(B

一水)

對支新借欵成立には

理委員會分會を設立し上海本

して天津設行準備管

至つた場合に備へる爲め永久狀態を持續する能はざるに立

飽まで賛同せず

對英回答に就き各省會議

委員會に猛烈に反對して居るを與へるものでありとして該 の口質の下に實現を阻止する の口質の下に實現を阻止する の口質の下に實現を阻止する て居なから使用し得ざる狀態 の豫算は一阵年以來計上され 態度に出でたる爲右兩領事館

の陸軍異動中、

來る十二月一日

は現在の参議官

軍事参議官で

し朝香近衛、

を固むるに至った

海市な局に

軍定

則異動豫想

現地の詳報待つて

斷乎たる措置

スク外一箇所に滿洲國德領事中であるが、右の内ハバロフ 建國直後既にソ聯側に於て主 養上異議なかつた所で、殊に り來つた、 頻發する 、之に對し滿洲國側 の懸案を何時實として遷延策を採 隱忍して來た 問意の表明

事件に鑑み

來

萬

も重大視

では十二日午後三時同事件に関東軍競表=ハイラル警備の報告によれば八日ハイラステンゴール北方滿洲図ラステンゴール北方滿洲図 日滿兩國を刺戟したが闖京軍 蒙兵の不法越境事件が惹起し 蒙兵の不法越境事件が惹起し

震側の不法事件は去る六月一次の不法越境事件は宝の、外景監視兵の滿洲國居り、外景監視兵の滿洲國民の水景監視兵の滿洲國民の水法越境事件は軍においても既に度々報告を受けて

蒙越境兵逮捕事件 下旬の関東軍測量隊員拉致下旬の関東軍測量隊員拉致

義一大將も多分參議官に親補實でこの他東京警備司令官西 一、西大將の後任として臺灣 軍寺内司令官、其後任は第 一師團長柳川平助中將又は 畑十四師團長

商店が暴漢のため

嚴重搜查要求 東久邇第四兩師 人人內科科 暴狀は一層夢ることゝなるで の出は獨自の方法を以て、そ の高根を永久に絶つべきで、 このまゝ棄ておかんか彼等の も支那當局の排日取締りなど 業とも見られるが、何にして の内容からして共産黨員のは の内容から んで日本と戦へ」などの傳軍

第一、第四師團に關東軍西 部長、第十師團長雄川中將 部長、第十師團長雄川中將 、關東軍參謀長後任は參謀 本部附橋本中將、關東軍參 、聯軍等談長後任は參謀 大部司長板垣少將の何れかに 議副長板垣少將の何れかに を自省さすには手緩い手段ない。 できあがる 関民である、彼然に 見縫れば何處までよって、 変那人といって、 とだ▼事こゝに至つては容赦

陸、海武官招き

★す、重大な結果も懸念して ち断乎たる措置を取るの決意 訪問、同様の要求を貸した 本文各地に波及する虚なしと 陸海軍も現地よりの詳報を待 に事務總長フツセンデンドを もに誠意ある態度を示されば ある

と幾萬べん繰返しても同じこと

では轉出しないものと見られ

橋本中將着滬

有吉大使ど重要協議

京路事件に闘する今後の對策につき重要協議有吉大使は官邸で磯谷、佐藤陸海軍武官を招

(上海十二日發國通)

官職を開催、

水兵狙撃事件並に南

中銀俱樂部懇談會 の東洋工業會議

新京

諸問題を討議 のる水力**殺電と** 時來は機械に 題、 都市に於ける煤煙防止間

で、満洲に於ける地下水の採後の治水利水の進歩は水力 後の治水利水の進歩は水力 酸電の將來を期待せしめる これに必要な貯水池は可能 性がある 性がある 要な貯水池は可能へ入力によつたが今への進歩は水力によったが今への進歩は水力のようによったが今によったが今によったが今によったが今によったが今によったが今によったが、

滿州の都邑計畫

は來る十八日入港の熱河丸で【大連國通】丸茂新大連市長

一 百萬順を以てこの事業に 探金會社 北村 民也 探金會社 北村 民也 探金會社は 北村 民也 探金會社は

建設局 電性 女田 建設局 電性 女田 東設局 電性 女田

ッベき 女に
男

ソ領事館増設問題

早急解決を要望せん

丸茂大連市長 十八日着

中銀 佐藤 壬一 ・ は煙防止は急務である り、煤煙防止は急務である り、煤煙防止は急務である り、煤煙防止は急務である がであるが何れは煤煙防 ・ は煙防止は急務である

六、滿洲に於ける電氣通信 一が出來る事になつたまだ 色々と摩擦はあるが電信電 色々と摩擦はあるが電信電 活、放送諸項とも設備の改 善擴充に努めてらる。

條件にかなりの特異性あり 関東に考究してゐる、通信 知な考慮が必要である 影備に就て 影備に就て 影備に就て 影師に就て 影師に就て 一大連會議でも議題に上つた 所であるが特に満洲國側に 大連會議でも議題に上つた 所であるが特に満洲國側に 一七、大陸に於て東洋學術會 七、滿洲に於ける無線施設七、滿洲に於ける無線施設 中村 珍治條件にかなりの特異性あり傾重に適網の設定、機器の性質に適切な考慮が必要である、通信関心で表慮が必要である。

から、 第州図の度量衡及 一次鑑會社 前島 一次鑑會社 前島 一次鑑會社 前島

の金を出いた い金をといって い金をといって がそれがそれがそれがそれがそれがそれがそれがそれがよる。 は土地を一て 語を多く用ふるやうに

5、滿洲國內に於ける炭田同一 坂田 昌原 坂田 昌原 坂田 昌原

家賃値下

築家屋 備完 梅ヶ枝町 Н 新京土地建物會社 金尖 卢卢要

井本運送店支店

引越 荷 物建築材料運搬

電話長三人四三巻 第 天 宮 島 町



PIB 質血に川 病 衰弱で 院 (1) 病後に 强 壯

| | 村清次氏(開)同

恭三氏(同)同ハルビ





特約店





現銀輸送に反對

東省も

つた

を固め今明日中に外務、 ○英國政府の意向を付度し 文那經濟事情並にこれに對 下を調整し同時に最近に於 回め今明日中に外務、大 此式国答を通達するの決 政府の通告に對し政府は

百五千四第 列國共同對支借数を勸請した **内幣制政革資金の一部として** 【東京十二日發國通】南京政

でも愛同し難しのにして帝國政府はあくま。路れるものと爲し斷然拒絕する。は山東省の財政金融を破綻に

對英正式回答に於て右の質意とその理由を明示したが愈々

を分明せしめ英國政府の對支を分明せしめ英國政府の對支 で左記内容の電報を發した なこととなり同氏は省政府宛

下交涉開始 関が國民政府の無謀な幣制改 度に出ると見られる、即ち最 度に出ると見られる、即ち最 革に對する日本朝野の反對態

(東京國通)十一日上海に於 事件に關し外務當局は水兵射 事件に關し外務當局は水兵射 であるので、頻 我當局决意を固む

【上海十二日發國通』 石射總間事は今朝十一時市政府を訪問、吳市長は五全大會出席のため南京へ出張につき兪秘書ため南京へ出張につき兪秘書の入の迅速なる捜査と厳重な

彼等に强壓手段を以て臨むべきではない、斷々乎とし

面の視察を終へた前陸軍次官【上海十二日發國通】南支方

五日新京移轉

▶ずらとは傷中◀

三、禁酒禁煙一週間やつてど お田等し」と西洋人が言つ は相等し」と西洋人が言つ は相等し」と西洋人が言つ

我委任二年縣 我委任二年縣 在一二年縣 在一二年縣 在一二年縣

ÖČ

告

刷行はよし、

在滿百萬朝鮮人教化の大運動

口會長聲明發表

問ふ抑々精神作興週間は何ぞ新京教化聯盟武田委員長殿に

四、宴會の節減、何故禁止なさらぬのか貴下の統治下に於てやる事を、少々イタリ

に聯盟武田委員長殿に一聯盟委員長殿

週間中早起を勵行してど 新聞に發表たの

(十一月二日後場)

金

針!

商

センタ

ス

 $(\Box)$ 

社

更

朝

民會聯合會

あいても、それはわれく の日常生活に不可缺のものと なつてゐると言へる、こ・ なってゐると言へる、こ・ なってゐると言へる、こ・ は、その報道機能についてはは、その報道機能についてはなってゐると言へる、ここには、その報道機能については、その報道機能については、又特に本社が新京放設局と提携して新人放送の機會を開拓するに至つたことに關 ってゐる。そして、もでれは現代文化の最尖 

定した。

大連市若狭町一

廣松 正滿 正滿

本寄 誕生日 上海標金

出來高

偽造品に

新京取引所市兄

(土月主日後場) 粉(混合百斤値段) 寄 引

近來奉天に於て品質粗悪なる僞造品を製作販賣

ブ御購入の際は特に指定販賣

如く入選一名、佳作二名を決査委員愼重審査した結果次の

一日午前十一時半より東京會 館に發起人總會を開催、出席 一切を一任すること」なり九月十 一切を一任すること」なり九月十 一切を一任すること」なり九月十 の諸準備を完了する答で第一 回社員總會は本月下旬に開催 の豫定である

精神に立脚して一段と内鮮滿時合會搖籃の地率天を引揚げ満洲國政治の中心新京に一切が撃げて移轉、第二段の活動に入ることになつたが、野口に入ることになつたが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に入ることになったが、野口に対している。

盟

給八級俸 稅委任二等 稅委任三等 佐 承總經營佐

森出 幸夫

(東京國通) 起人總會 十一日發 同盟通信社は十

洲 0

貸待

席合

現物●大法

場

定販賣店にてセンター

スト

目下謝恩景品付賣出中御購入は指

第一回

電 一OII、 一次為替

第二回

第三回

第一回

大連市明治町一番地大連市明治町一番地大連市明治町一番地大連市出風臺一四〇永原本 なほ今回の募集圖案は各種 不利な條件のため、比較的應 に幾年と稱別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとよく滿別の發明を現はさんとより、特別を作名。 分駐所近く開廳 岡們警察灰幕洞

満洲

事門家的敬養修練を經ずして るのである。そして又實際に ないである。そして又實際に

とせればならぬ。

縣等給上標的五個 等給上標的五個 等給上標的五個 等給上標的五個 時期 一年九月十九日 一年九月十九日 一年九月十九日 一年九月十九日 一年,五個 一年,五個 一年,五個

第二回 第三回

式(短期)

**注** 五元 □ 五元 

代理店 製造元

往診入院隨時

電ニセー・

大五三〇番

科

医学士

出

ホ

は必然である、以上の情勢に を保持し、通貨及び銀行の改 本のため永續的勢策として一 九三五年十一月四日より施行 すべき政策を決定した旨が述

△銀國有布告要項 「而して右の所謂十一月四日 より施行すべき政策は、孔部 長の離明發表に次いで三日附 で一九三五年十一月四日よ り中央、中國、交通三銀行 を通貨たるべく、租税の納 た。公本債務の支拂一切は

管理通貨へ 銀國有令布告 の轉身

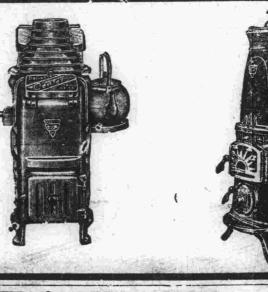
五八四煙四二〇〇〇一〇〇〇一〇〇〇一〇〇〇一〇〇〇一〇〇

イイイイイイ名百分



第三回





B 科科 院 医学士 長 松 野五百里 木 亨



新 石 鑛 析 超 避 選 別 介定量量 製圖及出願手續 業 法

新京八島通四十四番地

**荷**倉海 造庫 連 引 登 に 登 選 送 西 误

支店 本店 奉天、新義州

電話(五四八 二〇

湍 市内食料品店にて販賣す 糧 品卸問屋

WAS NOT THE TOTAL OWN THE TAX TO NAME OF THE TAX TO

(三)

海天津方面に移住する意向である、これに伴つて在哈邦府 並に邦人費本家のキタイスカ ・ 進出熟頗る旺盛でキタイスカ

を申出で東邊道三角地帶は日

奉天都市

計畫

大同二年奉天都市計費委員會が設立されて以

店では 過般來 岡們站 西方の【岡門図通】國際運輸岡門支

中銀より四百萬圓を融資

境に立ち或は解散し或は歸順に遭つて何れも今や最後の苦

**国し最後の追撃を加へ撃減** 輯安、桓仁、通化の縣境に

へ撃滅す 包

へ今や楊司令の率ゐる匪團を

作は着々成功し良民は王道のつある政府営局の宣撫治安工

普及に感激してゐる

岡們國際運輸に

電話 市外通話

九五三

性の百貨店

建設保溫倉庫

二萬六百四十一圓三十五銭での統計を示し本月の電話料金

中4通9大阪商船领 灸院

日滿兩國軍警の組織的な討伐民を苦しめつつあつた距團は民を苦しめつつあつた距團は

**正團に對し猛烈なる追撃を加** つある政府當局の宣撫治安工生堂、岫巖地方では民福祥の | 兩軍の淮撃に並行して進みつ | 雨軍の淮撃に並行して進みつ

TALL CONTRACTOR OF THE PARTY OF

一割の激増となった、次に回手五百六十一通三百八十に四千五百六十一通三百八十に四千五百六十一通三百八十

御用へ悪門

一限ルース風化用ラナ

恩給

大連飛彈町参 川

STATE STATE OF STATE

多を過ぎ十一日朝は街路 入り愈々本格的な厳寒に 入りた満洲里は八日の立

本格的多

討伐に從事する日滿軍警の勞 の手を通じ右金額で慰問袋をの爲幾多の困難と♥ひ、匪賊 七圓七錢に達したので教育廳中學校生徒は滿洲國治安確保 であつたが金額も合計七百十十分。

本に花の美觀を呈してる

最後の

一人まで

信電話局の十月中の取扱高は(岡們國通)電々會社岡們電

東三馬路無

込を乞ふ臨時雇い

十月取扱高 間々岡門局

電信 清信 六、電信 清信 六、電信 清信 六、

婦人も可 がに述ず遠 が表

遠慮なく來助されよの質本部(平井)

觀象所に問へば最低氣溫

日満兩國軍の徹底的追撃に

東邊道匪團殲滅近

十一日の氣溫を當地

**屢報の如くであるが、今回ける在哈露外商の退潮傾向** 

ザ鐵代表

**糸妻來哈** 

千五百米附近に蟠居中なるを題以下七十が老爺巓東北方二

月三日夜張勝子匪並に朱愛民

作り十一日附で各隊に送った 右慰問袋は少年少女の心から なる慰問品に可憐な慰問文が

政實施記念事業として安東に【安東國通】滿鐵では曩に帝

の發展が期待さ

金

・露人の生活窮迫化に依る 佛亜雨銀行の破綻に依る

鐵道代表クリッ氏夫妻は十一【ハルビン國通】ザバイカル

交職一時間の後全滅的打撃を時馬家店を出發匪賊を奇襲し

安東巡視日程

偵知し戸塚○殿を率い同夜零

日午後四時竇國際列車で來哈

下三十五、小銃五、同彈薬四與へた、敵の遺棄死體匪首以

拳銃三、同彈藥四三、

本商品の仕入をなし日本側へすべく日本語の奨勵と共に日外商は今後日本人相手に轉向

見山部隊方面在馬家店(小九

【ハルビン國通】濱江地區小

反日宣傳文其他多數を鹵獲し

最初の保温装置を施せるものが運びである比の倉庫は全國の運びである比の倉庫は全國

大同廣

融金產動不

部融金事商福丸

番〇五五六(8) 話電

本電話店

電話

と金融

- 雄詰、果實、高級野中に凍結するビール

345

品面品色

青山部隊大勝

感じ既に閉店整理に着手しず、維持經營に極度の困難

日滿勇士に

慰問袋を贈る

奉天城内の小學生の美學

本人顧客の吸收意の如くな宣傳に大童となつてゐるが

哀れ溫床の地に袂別

特落の白系露商

邦人吸收策成らず閉店續出

代で邦商の進出旺盛

記念病院

十五

出工

月中約十萬間の期限前端流があり、來年春耕期までには本年度貸附金額が自發的に現金をもつて決済されるものと独想され、來年度は加入希望者想され、來年度は加入希望者想され、來年度は加入希望者

なつてゐるにも拘らず旣に十る關係上期限は十一月以後と

付か主として農民を對照とせ回收狀況も豫想外に良好で貸

九十萬圓に達し貸付金

## 經濟諸問

倫縣

Ą

しめ彼等を反動化せぬ様萬全

適してみるから無理をせず

不の全般的

良質 である販賣方法

**體的に樹立が急がれてゐるそ** 高める樣に國家百年の計を具 産業技術傳習所を設け毛皮の省公署勘業科では本年七月末 ある興安北

し改良を計つてゐるが出産のも勸業處では優良種牛を購入 つれて家内工業式のものとし

中央に続側をとり技術を指導を、此の種のものは當分の間 樂しさを慕つて滿洲國と同一やれば近隣の不幸な豪民族が を見るよりも明かな事であるの政治運動に参加する事は火

る、明年の冬頃からは自給自ば更に利益を見ることが出來 式のものにすれ の見込みが 来蒙古人の食料品として重視 せられてゐるため羊の優良な るものは肉が不味であるから とて緬羊の改良が失敗に終つ た質例がある に企てたものも つたが羊は元

金回回写 同金念系 八八四大 十十次 建设

電話表板

江

ば

萬廣告相談所

三一六九三七番

定してゐたが愈々來る

余內

は

徐々に啓蒙改革の道を講じてせらずに間斷無き注意を以てせらずに間斷無き注意を以て 日本が年々海外から輸入する羊毛を呼倫貝爾で満たす様に努め日滿經濟ブロックの達がガンデュル定期市場の年々がガンデュル定期市場の年々がガンデュルに関連すべきであると思ふがガンデュルに関する。 合作 奉天信用金融

新聞社廣 告部

良

毎夕五時開演三日間

一月十三

カネタペン店

時までの間 脚じます午後二

着を收め、本年度賃付は約五 合作社は開設以來非常な好成 合作社は開設以來非常な好成 技術優秀

勝入船町平 日本

多服の御用は 第1中省

3六七〇〇

おどり茶園へ

タイピスト

募集

茶心茶道具。

新京 出張所

日本タイプ 綜合教授

雜

連大

来市政公署都市計畫事務所に 於ては人口百萬を擁する經濟 都市大率天建設に向つて着々 内部的工作を進めてゐたが、 之が第一次計畫資金四百萬圓 の調達に關しては昨年來内地 銀行團と折個中だつたが此程 銀行團と折個中だつたが此程 表面百萬圓の融資を受け事る に契約成立愈々年變りより本 格的に都市計畫に着手する事

切貸及負請

な人の九六三(3)電・八ノ三町曙 司公響車動自和大

田満タイピスト學院支部 田満タイピスト學院支部 を最高會内

0廣告

0

御

命

は……電

話

0

本橋通九一

(朝日 通交叉點)

院

性婦產

曆

時

病科

其他窒薬材料一般 別 越

3 六五五0 新京浪

福海商事

病ひ

は蛔蟲から

津醫院

同 院長醫學博士 津

產 院

亘

竹田靜子

內藤千代 石井君子

人院往診 (遺應需) 電。五六八九

**微も此の倉庫により、紀州靜** 續出しつゝあり、且つ會社自

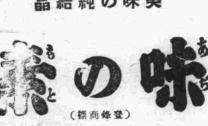
骥

は大に此れに期待し入貨豫約しめんとするもので、商人側 凍結せぬ新鮮食料品を配給せ 菜等の入荷に便し、嚴多中

電話 高 價 買●電話 3 四个二人電話用達部 > 和貸 買●電話 3 四个二人

社會資合融金和昭

晶結純の味美







タオル(燃 平 糸) タオル(加工品一切) ガーゼネマキは肌ざはり保 温申分なく衛生的で一般家 選に愛用されて居ります 一 類ひして居ります から一枚でも御注 文下さい引換小包 大連市大山通四四





草にしよ ば安然 る人と、新刀を愛する人と二 の超越せるものあるがだなら の超越せるものあるがだなら が、愛劍家には、古刀を愛す

愛する

故し、成に對する崇敬の念。

心靈に

に不定せぬ程豐富で

独我ナサルノラタカテルノヨナラヤノナトナレノト

他の食物の

ふのだから 助けるとい

アエ.

PI.

っても、百ガラムで一六四

がどの位の滋養價値と がどの位の滋養價値と

を持つてゐ

たいふ位、味

てゐますが、この年以上のを「上

# なくてはならぬも

#### 断然カロリー が豊富です

た切です。 次に甘味噌の場 この「なみ値」といつ

甲

は、やはり以上のやうな原則が、やはり以上のやうな原則が、やはり以上のやうな原則が非常に

から廿五パーセント)糖分五から一〇パーセント)糖分五(五から卅パーセント)脂肪分(六から十二パーセント) 照分(六から十二パーセント)

く、しかもそれ等をまぜて

ふのでなほわ

からなくなり

(1)色(艶のある)美し。家庭の御婦人方は

い光澤を持つもの程仕込ん でから貯蔵された上等なもの)(2)匂(鰡のとい匂 ひが何となくブーンと鼻に なるもの程上等です)(3) 味(たとへばお味噌汗にし 味(たとへばお味噌汗にし ですなものは、仕込みの充 ですい思いもの。鹽が返 のですり、3) についてでせらが、私

場合)に債權者のためになる
単に考へ、金額空白のそれに
甲と並べて署名し私の認印を (紛糾などが起るかもした。私は之はまあ萬一の

り貸主の名も空白で (角/ダー) の實際上の取扱方法等を詳 證の內容を承知せず、且講 又は落札の方法により各講離出し一定の時期に一定の時期に一定の金員を一定の時期を計籤 來ませんが、元來賴母子講具體的な法律上の解答は出 員をして醵出の講座中より

たる會主との間にのみ契約の場合には講員相互間に資金の組融通を目的とする一種の組融通を目的とする一種の組 關係から言ひますと前の として同様の方法で爲す 主と稱する者が自己の事のが普通ですが、稀には

一。〇〇 白天演

ニ、レコード

自動車がヨ。

もある、さ

ういふものでも、刀としては の美風は斯くの如くにして油 変せられ来たのである、故に 日本刀は管に我が國體の象徴 たるのみならず、武士道の特 髓大和魂の權化と謂はれるの

井上刀劍店主·記

国観双、皆徳、 観双、のたれ双、 では、大五の口双鋸 のたれ双、 大五の口双鋸

古刀鍛冶系圖の双文、概ね左の五傳に分ちて見る
マ「備順傳 双線、絹系の如くして細く美くし、又少したがシて沈やかにて沸少なし京風、相州風にて晴やかなり、先づ千牛院・尻懸、手し、先づ千牛院・尻懸、手 するは即ち之れが爲である。 ▽三筋樋、菖蒲樋、樋先上、 して関心紙の裂目の如きもたる如し、大和風又京風にたる如し、大和風又京風に きもの、菖蒲造り、

地蔵、肌、移り、地蔵、肌、移り、

恵み充ちて神と共にいませ でリヤ、幸にあふれ君のみ ま神とゐませ こま神となまれ君のみ スの母となりし君を讃え神とゐませ

二、合唱

大行進曲と合奏

(附管絃樂)

比谷

公會堂

間へよいざやもろともに 関へよいざやもろともに 関の帝知ろしめす。 型の帝知ろしめす。 ではみなき ではみなき



二、御質問の講が其孰れであるか分明しませんが各債權者の承諾を得たと言はれる者の承諾を得たと言はれる質を有するものでないかと質はれます。而し其孰れにしても貴方としては連帶借用證を差入れて居る以上該借用證記載の金額の支拂義告した。

中央音樂縣東京高等音樂縣東京高等音樂縣東京高等音樂縣

上智大學オルフオイス 東洋大 學 男 麗 合 唱 國 東洋大 學 男 麗 合 唱 國 東洋大 學 男 麗 合 唱 國 東洋大 學 月 麗 合 唱 國 東洋大 學 月 曜 合 唱 國 湿聲合唱無伴奏 アルカデルト 作曲 岩輝 矢田部 勁吉

其他、溫泉浴を必要とする諸病 泉蒸氣浴(電氣マッ

京鑛泉蒸氣浴所

絢爛!都下合 第三回 音樂週間 合唱 唱團の總動員

会良の都をわ きて 信 くの輝く 田耕作 ねるは誰が子ぞ 時 潔 作曲

作問詞 揮 太 塚

會堂より公

避難したのがこれは又意外散々吹きまくられ、身を以

**雨隣りのラヂオ、蓄音機、赤續けてゐる彼は又々向ふ三軒** 獣の中に切角の日曜日を目茶ん坊、酔漢、喧嘩等々四面楚 日茶にされて憤懣やる方なく もより凄まじい音響の嵐 との約束も破棄して新ら 新七時

会 合する、お紺は治郎兵衛の爲 川さかいにて昔戀妻お絣に面 川さかいにて昔戀妻お絣に面 - 戸田川お鮒殺し-京山天風

胃腸病、皮膚病、感冒、

でせら。次に大功なお料理の と煮立てすぎます。これが大と煮立てすぎます。これが大と素立てすぎます。これが大と でせら。 吹噌汁は十一鍋で煮 ◆紙上法律相談◆ なべきだと思い 婦人方は研究-がつく 味噌に對

すから、貴方としては其限度の即ち毎月三十圓だけ債 機者たる各講員 (勿論貴方 自身は除外されます) に對 し支拂の義務かあるたけだ と思ひます、又其支拂の方 法に付ても前に約束がある かも知れませんが其監は御 かも知れませんが其監は御

乳五勺、鹽、

24株、トース半株、トース半株、トース

遏

さじ一杯を三人前位の場でといてレモンかオレンギのといてレモンかオレンギの

賴母子講途中解散後の

講の寄り合ひへは一度も出ず 第一回分三十圓を甲に渡して ニ 第一回分三十圓を甲に渡してはじめることとし、私は甲の一 (門) 賣の資金をつく で 私の親戚甲が商 保證人の責任は? 東し、各債権者に承諾して貰い。返済して行くといふことを約って行くといいるとを約 講は解散と 話をつけ、少しづゝ

馬鈴薯の中身を大

上等の蜂蜜を熱湯でわり茶

懸賞當選ラヂオ小説

くつて玉子

別の

を漉し芋

**両きしなさい。(大原法律と共に直接辯護士に就て御** 一句詳しくは事情を知つた甲

(玉子と馬鈴薯の西洋料理) ンチ 玉子のパルマ

なりませうか(不知法生) 滞つた場合、私の債任はどう 話しました。若し甲の反済が 一、講の規

せいつ (朝)

十 三新M 日京市

七二三〇大合唱(東京)七二三〇大合唱(戸田川お紺殺じ)七二三〇大合唱(東京)出第三回音樂週間日比谷公會堂より中總=七五〇ラデオ小説(東京)

飛行機上より見たる燈火管 飛行機上より見たる燈火管

【後七・五〇東京より】

東一条道 = 三〇天田地

習

坂卷春之助作·築地座連中演

京山天風

にも浮世離れがして静まり反った理髪店―ものらい春の腸でし、聴覺に快い剪のリズムでし、聴覺に快い剪のリズム

で然し彼は次第に淋しく心

たまらなくなり8・0・8く、遂には堪えきれぬ不安

赤塚久子

六三〇 建國體操 六五一 ラデオ體 操(東京) 入港船の御知らせ (大連) 

(畫) 晝の油 京引續き新京) (大連引續き新京) (大連引續き新京)

報(東京) 走雪山

公餘俱樂部票友 劇 (大連)

八・四五 ニュース・經濟市況 ( 補語) 無家通報・番組豫吉 知歌

八三〇 時報・ニュース (東京) 「大三〇 時報・ニュース 本 助 太 田 恭 助 か ニュース

出かけることになったが、 オの野球戦に足を留め耳をすト隣室から聴こえてくるラヂ との約束を履行す

吉原百人軒

大ダクで言(3)五四 世

論洲等變 市外郵送送金確實 株 動 公 社 武 労 債 債 公債 賣買 松尾盛男商店 高價買入 新京東三條通四二(滿線醫院績) 本 店 大連、 支店率天、 安東

二、四〇下午演奏 三、五〇經濟市況 (東京) 三、三〇〇ニュース (東京) 三、五〇經濟市況 (東京) 三、五〇〇子供の時間 (大連) 綾語 夢を賣る男 (鮮語) 本〇〇子供の時間 (大連) 旅順第二小學校 旅順第二小學校 (野語) コース (英語) お話 夢を賣る男 (野語) お話 夢を賣る男 (野語) 性心身的三大區別 性心身的三大區別 性心身的三大區別 李 恩 源 何時御客様が 「前一〇・〇〇新京」 飲みもの あた 家庭講座

投茶を少し入れます をそいでよくかきまわし をそいでよくかきまわし をそいでよくかきまわし をそいでよくかきまわし

には目先きのかはつたあたゝでは型にはまつて御紅茶かコーヒーでは型にはまつて趣が御座い 走いたしませう。かい御飲み物を工夫して御馳

さらしあんを御鍋にといてしたらウドン粉を固めに水でといて適當の大きさにち切つて落し入れます、煮えましたら食鹽で御味を整へましたら食鹽で御味を整へあついところを挽に盛つてあついところを挽に盛つて

さめます。

名を治郎左衛門と改名なし名を治郎左衛門と改名なして始めて吉原に行く、三浦屋の八ッ橋太夫を見染める三ヶ年間吉原に行く八ッ橋太夫の實刀村正をぬき吉原にてはじを受け此れまでと治郎左衛門が家代々の實刀村正をぬき吉原にて百人斬を致す戸田川お針 関の美男子がお紺同

ラ

ンプ

京山天風さん……





帽子哲

(11)

を が 形と大きさには、 驚く程遠ひ が 形と大きさには、 驚く程遠ひ で が ありますな。 さあ、 旦那の頭はこう附け加へを るが 通りすぎたのを知って、 それか の 勇はこう 附け加へた 9 本 は で ないと 云 な 歳 来 で

そう云つたまで、すよ。ければ、長くつて、細いった。 もお驚きになるでせられた頭の大きさいよあるが、あの方々の頭の大きなが、あの方々の頭の大きさいよあるのに考って、細い瘤々だが、あの方々の頭の大きさいよあるが、あれた質さですが、あの方々の頭の大きさいよあり、まないまですが、あの方々の頭の大きさいよあり、まないまか、あれた質さでは多いますが、あの人たきさにあるのでは考し、あれた質の持つではまり、あれた質さでは多いよう。 は驚いてしまいますよ。日那の大きさいよるの大きさでは多いなるでは多へ事を響きになるでせられるのに対しています。

れ Xさんへ有名な解談士の名をあってたいのですよ。 第くべきあったいのですよ。 第くべきをあったいのですよ。 第くべきをあったいのですよ。 第くべきをからないです。 ないのですよ。 第くべきをやつとりましたが、 頭の大きさです。 からで 大勢の 頭の大きさです。 ないですが、 頭の大きさです。 ないですが、 頭の大きさです。 ないですが、 真の大きさです。 ないですが、 その質がないとりましたが、 その質がないとりましたが、 その質がないとりましたが、 その質がないとりましたが、 その質がないとりましたが、 その質がないとのでは、 ないのでは、 ないのではないのでは、 ないのでは、 ないのでは、

生活を送つたことがあるのだ 生活を送つたことがあるのだ 生活を送つたことがあるのだ

說選外

唯一人の憎むべ この俺はお前に この俺はお前に (上)

た。そしてあい横楽婦人として堅 一大によらに来たら、どこか要 がこちらに来たら、どこか要 を大力を見た。その時人として堅 一大にかったのは九月の半ば頃の 大ながら二人で方々の襲まで出迎へ に行つた俺は以前よりもずつ た。そしてあいでもは以前よりもずっ た。そしてあいで、二人とも相當 を俺達は再び昔の夢を見てした。 まつたのだ!

▲協和報(十月廿八號) 論説「縣聯實施矣」「關於 日華共同防衛赤化陣勢」等 は本號で終つた(新京中央 は本號で終つた(新京中央 は本號で終つた(新京中央 が記二十一、満洲國協和會三 一十月四日號) 一十月四日號) 一十月十日臨時骨 一十月十日臨時骨 一十月十日臨時骨 一十月十日臨時骨

症とは



かして困るが値か良いといふ、乗屋へのだり、また乗屋へ

(わかもと)がこの栗であります。

す。――どこりを記した新生物製剤がありま

ので、アルカリ刺ので、アルカリ刺の

胃の組織細胞を

正常に引戻す點

ことにもありますので之の胃臓病に及されて、多すきた酸が自然に高いのでありまされて、多すぎた酸が自然に正常であります。一般へは胃酸過多症の人が、これて、多すぎた酸が自然に正常であります。

された。この炭酸ガスは ででは、この炭酸ガスは 化學薬剤と全災 ることになつ

作用もありますし、特に在來の化 が作用もありますし、特に在來の化

に復し、関やけも止まりますし、これででは、大き酸解を症を水く放産してあった。 これできる人であつて も之を服めは漢瘍酸の観胞がだん かった であって でん がいまりますし、 

シ油の流用を避け、特に カの弱い小児など カの弱い小児など

電燈料、 家獨 水道料、 場所 族身 向貨室 敷金等不要前家賃二十五圓 新京左平街(國務院東)





胃酸過

らぬ胸やけの原因と

と)を服用しておけば、

に重曹の濫用は悪い

はいるは、 はないが、 を経であります。 ない、変不能判較の強いを描され、 を経であります。 ないのなに、 を変にであります。 をであります。 をである。 をでる。 をである。 をでる。 をである。 をでる。 をで。 をでる。 をで

廿五

周

年忌近づ

F

モ

ク

ワ

國立

痛みがとまり 

カスを發生

解すると

で変してなるとまた解み出すーーといった風の飛気の特徴であります。この凝気の特徴であります。この凝気の特徴であります。この凝気の特徴であります。この凝気の特徴であります。この凝気の特徴であります。この凝気の特徴であります。この凝気の特徴であるととな様に異常が起って、胃液のものが、胃臓が多くなるとその酸性の配数である。この臓気のを対しまる。

では、この調やけを放つて置いたらどんな危険があるかと申しますと、胃後の姿質が多いために次に胃壁が自分の胃液のために化えていた。 この調やけを放つて置いまれてたされ、窓には吐血であった。

力

の手當

そこで近項では胃臓カタルを肌及的に治すために、「験米の治療界」のの影響にも行ばれるやうになつから我感にも行ばれるやうになつから我感にも行ばれるやうになった、ヘーフエといふ欲生物の服用

I

れるので

胃

ヒマシ油を濫用すると大害がある

ります、一部にります、一部に

た様な胃臓粘膜の部多的な炎症、 つまり小火を消し止める作用があ ります、胃臓粘膜の部多的な炎症、 野臓粘膜は、無数の細胞 がある作用があ

家

を胃臓の繁防にも犬いに役立つ酔いません。——ですからこの胸やけません。——ですからこの胸やけません。——ですからこの胸やけません。——ですからこの胸やけません。——ですからこの胸やけません。——ですからこの胸やけません。 かります。 あります。 かカタル、 のカタル、 のカタルがある カタルがある。

の手稿、一九〇〇年から一九 一〇年十一月三日に至る七册 の日記が密贈された。 年の間にトルストイの許にロ シァ各地から來た手紙約一萬 た。

「滿洲における郷 村建寺 「滿洲における法」 「本井庄壹)その

タル、膀胱カタル、 一般の かんぐカタルといふのが といふ名稱はギリ

うに嫌がることであります。

んに起る急性胃臓カタルは、胃

炎 症 が起り、これが他

胃病に悩ま (大阪) 

れが細胞の配

には、此の億力が

のヴィタミンを始め、たくさんの

このひしがれた細胞の働きを立このひしがれた細胞の働きを立

横

大人一名 特胃腐カタルのう

二十国近くも、下痢することがあっていかいにかけて顧懿する、激しい下痢症の一つで、ひどい時は一日に痢臓の一つで、ひどい時は一日に 弱の激しい胃傷カタルには、

東京一七〇〇番)から粉末郷と能 郷の二種が一田四五銭にも常らぬ が関で軽賣されてゐますが、近本 で表情を利用して、効果懸はし

た解説前りこうことできなく、また解説前りこうことできなく、またりの原因は申すまでもなく、最

一人分# 注射不要 5 a 是 內服豫防劑

國都街泉に | 中のヨウマワヨコマのヨウ 各位の深甚なる御際接のその光る賜の一端として天高き明い 至る創業十周年記念特賣 奉公に一段の飛躍す 新しい各國生地の登に荷揚で パイの記念奉仕のお勉振り









要會とか園遊會を催す

とよく懇歌や二日解を起し、折角の祭のちゃってそれと、適當の量があるので、體 つてそれと、適當の量があるので、なつて参りますがお薦も、その人に 那な代謝を旺にし、體内のアルと云つた標なものですから、 ルと云つた標なものですから、 ルと云つた標なものですから、 がと云った標なものですから、 がた調を旺にし、體内のアル 製日の仕事にも差支へる様なこしみを襲無しにするばかりか。

刀べ塗りには

#### はれやか販賣店 並びに愛用者各位へ

脳症状恢復の根本原則であるとは私ども給する事が頭重、めまひ、齒痛等色々な 缺乏する為である……魔つて之を充分補其の疲れは腦細胞中に鱗、カルシウムが けてまるつた所であります。 が『はれやか』發表以來徹頭徹尾力說し續 頭の病気は疲れから起るものであり、

煖爐キンセイスト

ブ炊事衆用

ンピルハ

)富士屋電話3四

九〇九 七九四

タクシー

が少くないのは甚だ残念に堪えません。

掃調火

除節熱

簡自保

單由留

をころが這般、本剤の眞摯な良心的内をできる。 々、處方名として許されたのは本劑を以る種を使ふ樂品は現在無數にあつても堂 事になりました。形容詞に荣養剤といふ て嚆矢とするのであります。

無 灰 炭 用 無順炭礦製

新

京

泰

安

軍

盛

Z

シビン薬や麻痺剤で一時痛苦を抑える かられたけで、心臓と胃腸に恐ろしい副作用を作がなり來りの頭痛鏡都樂と、頭に栄養性が在り來りの頭痛鏡都樂と、頭に栄養を興えて頭の病因から着々恢復に導く原

改めて御願する次第でございます。 紫各位の御勉賣と、一般各位の御愛用を弦に新處方名認可を汎く御披露し販賣

界間は五頭の榮養劑のんですぐ効く 効~ヒステリー、二日郡、智勝に基づく頭・・の場所、協・が、めまひ、不眠症、神經衰

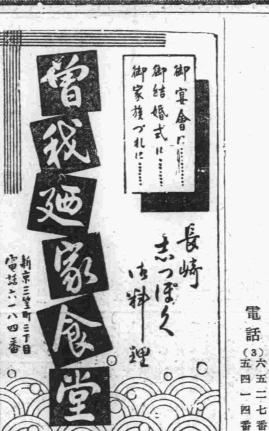
Y

お値段(大)

南京銀座 日獨醫化學研究所發賣

漿倒――三十銭・五十銭・一円・二円

致します。 因療法薬との根本的差違が、是ではつき り區別づけられた事を弊補は深く欣快と



利

風呂、煖房、其他完備、十畳、



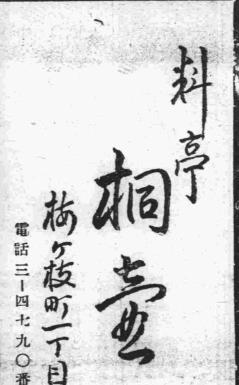


3話電



速効きめ

安全療







メッキリ冷える・

サア



御用意を

廣告御用命

は電話の三三〇〇番へ

ZO八Z·3·四t-Z·3電=目T四断衣和 0 室貸 一瓶ノ

二大特典 - 又 斯代 半 額

**ナまり右てつ撤取々色** 

客尚上應持尚上精內技利用下

ゆたなな

井茶 園 臘 VV ベベ ルル 市內食料雜貨店二 ア

遺骨廿

體着京

完全管

制の中にも

された

部怠慢個所

第二回目

ンの二分間連續吹鳴にて

がて五時五十分、六時三十分 に消燈され完全に敵機の襲來 に消燈され完全に敵機の襲來

北満方面にて活躍中名譽の職死を遂げた根本憲兵軍曹

中央ホテル 再度の不謹慎 の動かった中央通中央ホテル 中央 ホテル 再度の 不謹慎 大部に報告されて来たが大體 を見ると次の如くである 本部に報告されて来たが大體 を見ると次の如くである に於て良好をあつたが本年六 本第一分團一燈火管制狀態は たがて良好をあったが本年六 本第一分團一燈火管制狀態は てあると次の如くである の場かった中央通中央ホテル 中央 1

調査部速報によれば東京市の

萬に達せん

東京市總人口東京市總人口

茶郎了

海洲總本家

類

明朝南下喪の凱旋へ

擁する國都新京は

一瞬

園長、植口特別市防護園長は 令官濱本少將、武田聯合防護 と製管制と同時に新京警備司 ・自動車を馳って各分園を巡視 ・直頭本少將、武田聯合防護 ・して大いに志氣を鼓舞したが ・正式 田 聯合防護 圏長の 感想

超特急あじあも

も近く架設されるのでこれが 2 も近く架設されるのでこれが 2 を近く架設されるのでこれが 2 を近く架設されるのでこれが 2 を近く架設されるのでこれが 2 を近く架設されるのでこれが 3 を近く架設されるのでこれが 3 を近く架設されるのでこれが 4 を近く架設されるのでこれが 4 を近く架設されるのでこれが 4

車 における十一日夜の貨物列車(新京着午後三時四十分) 車(新京着午後三時四十分) 車(新京着午後三時四十分) は約三時間遅れ七時に漸く到

では來年は六百萬人になる加數は十八萬人で、この調本五年間に於ける一年平均

豫想されてゐる

深夜電力を利用

電熱オンド

備洲電業公司の新試み

海山野町方で 海山野町 「本大國通」三毛本部縣入電によるは小見山討伐縣稱原支 際の潮島〇隊は十日午後藤江 縣南方地區に於て海山匪約六十の匪賊と遭遇交戰二時間にして之を潰走せしめたが右戰 別行一等兵は左肩に貫通銃線の岡部 を受けて重傷した、敵匪の遺 を受けて重傷した、敵匪の遺

宮内省御菓子御用達

監瀬總本家

燈火を隱

CB

この日新京聯合防護團本部及び新京特別市防護團各分團特殊防護團員は團服に身をかたの千後四時それが一本部に集め午後四時それが一本部に集め年後四時をれた一本部に集めたが職合防護團本部及

五百圓臺を割つ

達並に國意

ながら職場のやうな騒ぎだ空

特別市防護團が

演本警備司令官と共に各分 強などこの演習を理解されて まくこの演習を理解されて よくこの演習を理解されて ない、各分團とも成績は良好で、各分團とも成績に特別市防護 で、各分團とも成績は良好であった、電々會社の屋仲であった、 か五十燭位の光が一里位と まで光つてゐた、夜間は一 であるので燈火管制にはお百 をながか一里位先 をながから市 は最もとてもよく見へ るもので燈火管制にはお五 ないに外 をながからまるなりにはお五 ないに外 をながからまるなりにはお五 ないに外 をながかられてなられたお蔭 であった。 ないに外 をながかられてある。 ないに外 をながからまるとでもよく見へ ないによる。 ないにはお五 ないにはお五 ないにはお五 ないにはお五 ないにはお五 ないにはお五 ないにはお五 ないにはいるとと

最も好成績

係長が本部に詰めかけ各分團 への命令傳達情報の聽取にさ

令部では直ちに

何つて 南下しつゝ ありとの情報に基き警備司

報告する敵機は新京に

零下の宵闇

に吸は

### 糸観れぬ統制工 燈火管制演習終る \* \* \* \* \* \* \* \*

一、満洲國と某國とは某係爭問題に端を發し康總元年春以來互に外交交渉を重ねつゝありしが折衝送に空しく十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺生の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基さ十月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に基さ十月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に表き十一月十二日午後四時には隨時活動や開始し得るに至り士氣極めて旺其の既定計畫に表する。

交通整理班の活躍で

満洲防空史を飾る好成績 本日の演習につき左の如く語

一件もな

新設兩小學校の

問 新京地方事務所鯉沼地方係長 は確定するにはいたらぬが各 は十二日午後一時から上原、 學校を通じて正月からは二十 瀬川、諫山、明日四旣成小學 一名の訓導が増員されること 校長及び大内第五、辻第六小 は滿鐵本社で認可された 學校設立準備員の六名を集め 正月から開校の運びの豫定で 一名の訓導が増員されること で種々懇談立準備員の六名を集め 一名の訓導が増員されること で種々懇談するところあり中 開催した、初日は上原校長か は滿鐵本社で認可された 學區域、高等科量設等につい 並びに高等科生の保護者會を て種々懇談するところあり中 開催した、初日は上原校長か は 強割富及び高等科をどの學校 見童の學校選定法及び實社會 結 に増設すべきやなどについて 人として卒業後社會に踏み出 達 に増設すべきやなどについて 人として卒業後社會に踏み出 達

昨日午後地方事務所にて

題を議題に は右興論に は右興論に

新京署も 税科長、清水民政部總務司長 中佐、滿洲國側田村財政部國 中佐、滿洲國側田村財政部國 中佐、滿洲國側田村財政部國 關東局側武部可政部長、御

商

共同委員會

議案を審議

▲ 滿洲側側 電影 中華 一大橋外交部大臣、長 部大臣、孫財政部大臣、長 部大臣、孫財政部大臣、長 部被務庭長 一大橋外交部大臣、長 一個總務庭長 一大橋外交部大臣、工實業 一大橋外交部大臣、工實業 一大橋外交部大臣、工實業

議に於て先づ滿洲國側より現 講籤公課、居留民會公課等に

一時散會した

明報告をなすことゝし午前十行地方税に隣する詳細なる説

委員=西尾參謀長、行內關東大野關東局總長、竹內關東軍顧問 本響能官、永津大佐幹事=山本響能官、永津大佐

議

幹事は次の如くで

事

せり、なほ出席せる委員並にに關する件の二議題について審議について審議

二時より關東軍司会經濟共同委員會は土郷済共同委員會は土

關東軍司会部に於て | に滿洲國政府より諮問ありた委員會は十二日午後 | 員幹事及び隨員全員出席の下府發表=第二回日滿 | 開催せられ日滿兩國政府の委

者に對し各子供 などについて別 などについて別 す見童の職 て講話 いて寒談あり卒業兒各子供の個性、成績 り、第二日、第三、第三は業選定法などにつ

岡るには四圏の情勢より推し 関立映書製作所を設立するを 見、今後各機關はこの方針の 下に具體的研究を進める事と なつた

張總理奉天着

政府を鞭撻する筈である議會に北支問題を提げて

午後一時十三分着あじあで三済軍慰問の爲張總理は十二日

毛司令官始め在奉日滿軍隊、

作所設立に國立映書製 事務所廢止齊、吉兩鐵道

の意見一致 に鑑み去る九日本間に鑑み去る九日本間 の関政府各機闘を以いれてゐたところで

産業處が新設され事ら地方産 産業處が新設され事ら地方産 業の助長發展に協力する事と なつたので從來滿鐵總務部に 課屬してゐた吉林、チチハル の兩滿鐵事務所は廢止される ことに決定した、残る郷家屯 ことに決定した、残る郷家屯

(大連國通) 今回の鐵路總局 鄭家屯事務所

学佐美總領事、關屋地方事務所長、葆省長、王市長其他日所長、葆省長、王市長其他日所長、葆省長、王市長其他日の官民に一々挨拶を爲した後の官民に一々挨拶を爲した後 士の英霊に額づき冥福を祈り 一時宿舍ヤ

毛皮展示會再會

0

滿洲國體育聯盟

松京の電話相場

事變以來の

安値現出

落着

任挨拶に來社 任挨拶に來社 新舊支配人來社

鷲澤作議士

大朝新京支局長 高宮氏來社 大阪朝日新聞新京支局長に着 任した高宮太平氏は十二日校 接に本社へ來訪

希望ノ方は午前九時マデ来談ノ事市内確實ナル保證人ヲ要ス

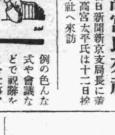
女子店員入用廣告

ウラル丸で大連に赴き天津· 奥四二氏は十三日神戸出帆の 東四二氏は十三日神戸出帆の

本體頭所 株氏

合によつては國同をも脱し来 事となつた同氏は北支の軍大 事となった同氏は北支の軍大 んか代讀でなし、武

には ちの薬を 大セロ



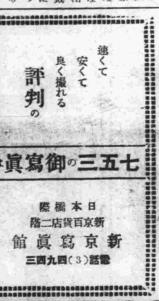
学の表示の はで記録な となると新 となると新 となると新 となると新 となると新 となると新 をなると新 をなると新



意語三一二〇四五番

岩間商會實石部

逾



X8K@ X0K @ X0K @ X0K@ X7K@ X0K @ X8K@ X0K @ X8K@

敗良チリ 特専 岡石川製紙會社謹製 價特 出

ン

各種!

▲▲▲ 京協銀 花力月

(三千枚) 一、四五(千枚) 大 九五

株名 義書換停止公 ・ 本名十二月一日より第二回定 ・ 時株主観會終了の迄書演停止 ・ 報和十年十一月

和十年十一月

廣告の 御用 羽衣町の 命は 富 電話 士食料品店 三二二〇〇香 電話(3)四八五一 0

計何居石ヒ卒マ炭 2 21 力御 ラ註

現場註文御受電話三 和茂 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二) 行(電話三一二天人二)

キワ 儀 豫テ病氣療養中ノ處率行其ノ効無ク本日十一日午後薬行其ノ効無ク本日十一日午後

昭和十年十一月十二十 新京老松町八番地 小笠 原 之 茨

際橋本日 階二店貨百京新 館 眞 寫 京 新 三四九四(3)話職

機には継承ない、出來ない。と

ないた。 既は打つやらに彼女の間に手を 経ていり終へ、一萬か、

肥料にも比すべき良難です。荷くも毛の不足不恰好の方子常、発養の三作用を兼與へる、恰も草木に動する土壌、日光、田中醫療は一の創製にして、毛生に必要な、減度の殺菌、興

ではえ薬フミナイン

說明書呈前記東京藥院へ申越次第進呈 個五下鏡、九十銭。一個六十錢、三國、全國各藥店にあり試用あれ

のたなはの数を見て手をはなして 批学家の商湯指の製人だつて! が、便はそれほど、あなたを信 ほそいつを殴りつけてやらうと て、さらかも知れない」 あ、そんな影響はいけません ð. すぐに彼は言葉

励られてしまった。 「僕が、君の、黄金のパトロン、 「は、既は夾心する」 「僕は、君を愛してゐる。しかし 数は自分でもわからない情熱に ロンにならうし

下上御 し。 さ御指本必達 質名水才樂 取のとラ名 一元 賣 發

元 環語天生寺三五五六番東京薬院文店 顕 無着東京大の一〇0番東京薬院文店 大阪市赤十字病院前 東京薬院本店

のみのコバタ

は荒事すぎ

のヤニ落し

ナイフで歯

コッコッと

るすべから

ヤワヤジと くスモカで 万一品質れの節は代金を添へて左記

(全國藥店にあり)

地十億、五十銭、一回、二回、送料内地十億

法簡便にして着々ヨ

クなる

目に立たず

っけて汚れず

(出輸迅速)

新京吉野町(鎮座)

朝日堂

( ) ( ) ( ) ( )

時往診應需)

電話3二五九一番

御試食を……

けても深く効き

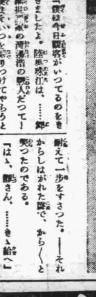
菌を殺し

毒を消し

祝 赤

せず

シマズ 痛まず 内攻





更季は皮膚病の膨高跳梁を極むるなどと云つで等限にしておいた方がよいなどと云つで等限にしておくと飛んでもないことになります。皮膚病患の違ば沢一つ 田く

不村負沒即商店

電話五二四四省

熱命

7

ンヂュー

何卒多少に不拘

病、痔疾科

ヘロイン中毒

小兒科

松本醫院

なつてわたのである。

「いいつからさう あんたは、それを本気でいふん 後一は彼女の間をつよくつかん しまつたのだ。 「じゃあ、簡適君とのことも、ほ

でも下しかねない様子を示したが、 「向ふが割けでも、恐は別れてお ・・あのがは際日です

(可認物便郵煙三第) 私は、私は、愛する舞踊のためにの機巧はそれだけではない。…… わ。 別死のかだけではない、 現代

**金**記

(セナハ)

整理者でが、後一と一しよに着 子になりました。心も、身間子はもう、意在といふ、彼女がいつたのである。 「大瀬岩にしたつて、あんたのそめた。 似じてゐたのに かりではない、 んなに、口惜しがるか、 彼はうなだれてある我はをみつ いはないで いたら、どんなに、 大綱出もあなたを いはないで下

その態似でゐますの」

パトロンに、えらむ

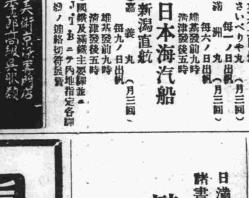
んきん 主 Ž たひた

かゆがり しらくも 養虫の刺傷 U まづ 蚊ぶど 漆のかぶれ は あ 皮脂漏 南京虫 出 12 せ 物 けも 專屬 荷扱所 

● 新州丸(月三回●ないべりや丸(月三回●敦賀直航

●嘉 義 丸 お 州 丸(月三回) 神素酸前九時 海素酸前九時 海大ノ日出机 月三回) 日本海洋の後五時

病院症に最も巡察であることはオー



ル目本の酸です。御覧なさい公園の ル目本の酸です。御覧なさい公園の を高ると云ひます。一番よく変れてあると云ひます。一番よく変れてある皮膚病患寒ケーム水 であると云ひます。一番よく変れる を解して差支へありません。其の の皮膚病患寒テーム水は從來 の皮膚病患寒テーム水は從來



R D

除書類作成日滿鮮通譯 為洲國商 標 登錄日滿民刑事訴訟 顧問及鑑定貸家貸地管理 辯護士 事務所移轉 黑 **世實法律事務所** 

. 适 話三-五四四九番 店理代滿北 (新京百貨店獎) 房藥號亞東

日パーセン

 $\sim$ 國 產

絕

頂

TO CACOM PACON

XX) 14 00

四二、三等船客設備船 本印 廣 島 寄 港 市 林 丸 十一月十四日 がある丸 十一月十二日 がいかる丸 十一月十二日 ヤパンツーリストビューロ 湖鉄沿線主要各解及各地ジョ 海鉄沿線主要各解及各地ジョ

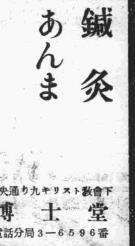




辱を用愛御に故の此







中央通り九キリスト教會下 中 士 堂 電話分局3-6596番

原、四平街、哈爾濱、傅家甸、齊々哈爾、福拉爾、安東縣、龍九村、廣門、牡丹湖。大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天小西關、錦州、赤峰、承續、鐵鎖、 · 朝鮮銀行新京支店 明本銀

朝 辞 釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平壤、鎮南浦、西、地、東京、大阪、大阪西區、神戸、下闢支店出張所及派出所

全滿洲總賣捌元 京新



